

日本一、働きやすい県庁(しょくば)アンケート2014の概要

平成26年11月19日
中央労使協働委員会

本アンケートは、県と県職員労働組合が「労使協働」の取組の一環として、職員の満足度や意欲・問題意識等に関する状況を把握し、今後の「日本一、働きやすい県庁(しょくば)」の取組を推進していくために実施するものです。

1 調査方法

(1) 調査対象

職員 5,221 人（派遣職員等を除く）を対象に実施し、有効回答者 3,506 人、回答率 67.15%でした。

(2) 調査期間

平成26（2014）年10月6日～10月22日

(3) 調査内容

日本一、働きやすい県庁(しょくば)を実現するために必要と考えられる6つのテーマに分類し、集計しました。

- ① 安全・安心に関すること (設問6問)
- ② 時間に関すること (設問5問)
- ③ 男女共同に関すること (設問4問)
- ④ 職場の「支えあい」を実現するために (設問5問)
- ⑤ 意欲を持って働くために (設問6問)
- ⑥ ワーク・ライフ・マネジメントを実現するために (設問2問)

計28問について、「そう思う」「やや思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の4つの選択肢により、職員がどれだけ満足しているかについて調査を行いました。

(4) 算出方法

設問は5点満点で、全体の最高は100点となるようになっています。

2 調査結果の概要

(1) 全体の特徴

① 全体の満足度は(64.82点)で過去最高となりました。

(参考) 過去の職員アンケートの全体満足度得点推移

H14	H15	H16	H17	H18	H19
58.73	57.98	59.33	59.81	60.28	60.53
H20	H21	H22	H23	H24	H25
61.45	61.89	62.64	61.62	61.97	63.06

※ H23 までのアンケートは設問数及び内容が現在のアンケートとは異なります。

② 設問別の満足度の最高点は「問 8 通勤時間」(3.83 点)、最低点は「問 26 昇任のしくみ」(2.73 点)でした。

3.50 以上の高得点は「8 通勤時間」(3.83 点)、「12 子育て介護への理解」(3.73 点)、「4 仕事上の相談相手」(3.71 点)、「5 ハラスメント」(3.60 点)、「15 性別にかかわらない能力の発揮」(3.59 点)、「20 研修参加への支援」(3.58 点)、「7 休暇取得」(3.52 点)、「16 協力し合う雰囲気、人間関係」(3.51 点)の 8 項目となりました。

なお、「26 昇任のしくみ」(2.73 点)、「28 充実した生き方、働き方」(2.74 点)、「1 職場環境」(2.77 点)が全体と比較して低い得点となっています。

(2) 項目別の満足度の特徴

① 所属

他の地域機関(66.13 点)、地域庁舎の事務所(65.00 点)、本庁(64.46 点)、県立学校(62.51 点)の順となりました。

② 部局・地域庁舎

部局別満足度では、病院事業庁(81.12 点)、出納局(77.11 点)、議会事務局(70.77 点)が高く、防災対策部(57.45 点)、環境生活部(60.93 点)、県土整備部(62.44 点)が低い結果となりました。

地域庁舎の地域別満足度では、伊勢(志摩)庁舎(66.83 点)が最も高く、桑名庁舎(62.27 点)が最も低い結果となりました。

③ 役職

課長級以上(補佐級室長を含む)(71.94 点)、一般(65.53 点)、課長補佐級(62.56 点)、主査級(62.56 点)の順となりました。

(3) 日本一、働きやすい県庁の推進に向けての自由意見

全体で延べ610件の意見がありました。

- ① 最も多かったのは、勤務時間縮減に関するもので、107件(17.5%)あり、適切な人員配置、業務削減、事務改善等の対策・実施を求める内容でした。
- ② 次に多かった意見は、人事に関する意見で57件(9.3%)ありました。異動上の配慮や管理職の適切な登用などを求める内容でした。
- ③ 他に多かった意見は、職場環境(施設面、空調等)52件(8.5%)、ワーク・ライフ・マネジメントに関するもので45件(7.4%)、育児・介護についての制度や周囲の理解・男性の育児参加に関するもので38件(6.2%)日本一、働きやすい県庁の取組に関する意見が38件(6.2%)となりました。

3 今後の取組

アンケート結果(数値、自由記載意見等)を各部局へ提供し、各部局等労使協働委員会において、課題について検討するとともに、各部局における今年度の日本一、働きやすい県庁(しょくば)の取組に活用してもらいます。